

## トウキョウX 遺伝資源の有効活用法の確立

### 【背景と目的】

青梅施設への悪性伝染病侵入という万が一の事態に備え、これまでにトウキョウXの受精卵を効率的に採取する方法を確立した。保存した受精卵は維持群の近交系数上昇抑制、遺伝的多様性の確保、農家への種豚導入の簡便化・省力化にも活用できることから、今後、採取した受精卵のガラス化保存を進めるとともに、遺伝資源の確実な再生のための移植技術を確立する。

### 【研究概要】

#### (1) トウキョウXにおけるガラス化保存胚による子豚生産

他品種での報告と同様の条件で移植を行い、トウキョウXにおける移植胚由来の子豚生産を実証するとともに最適な条件を見出す。

#### (2) 追い移植による生産性検証

上記の成果をふまえて追い移植を行い、分娩率および子豚生産効率の向上を比較検証。

#### (3) 簡易な移植方法の検討

移植胚の劣化低減および省力化につながる融解方法を検討。また熟練を要する子宮角深部注入法に代わる移植手技を検討。